

今年度の学習会等の報告

ともに生きるきっかけ学習会

「ともに生きるきっかけ学習会」は、地域での共生社会の実現と、地域住民の皆さんの障がいについての理解を深めるため、6月30日玉穂生涯学習館で開催しました。今年は「精神障がい者に対する理解を深めるために」をテーマに前半では「誰でもなる心のこと～ストレスを気にかけていますか～」と題し県立精神保健福祉センター

芦沢孝太さんによる講演。後半では「多様性を認めよう地域づくり」と題し、峡東地域ピアサポーター新沼洋介さん、峡東圏域マネージャー吉村純さん、県中北保健福祉事務所精神保健福祉相談員青柳幾子さんをシンポジストに、また精神保健福祉センター木村由美さんをオブザーバーとしてシンポジウムを開催

しました。会場からは、「障がいをもつ人の具体的な思いを聞くことができ、より理解が深まったと思います」といった感想をいただきました。

今回の学習会は、中央市、昭和町など12を超える市町村から約90人の参加者があり、この学習会への期待の大きさを実感しているところです。今後も今回の学習会で寄せられた意見を参考に、継続して学習会を企画しますので、ぜひご参加ください。



中央市・昭和町障がい福祉サービス事業所見学ツアー

当事者やご家族等を対象に、7月24日、26日の2日間で ◎成人コース(2コース)、◎児童コース(1コース)を設定し、中央市・昭和町内にある障がい福祉サービス事業所見学ツアーを実施しました。

障がい福祉サービスについての理解を深めるとともに、各事業所の実際の活動内容や環境を見ることで就学後や特別支援学校卒業後の生活やサービス利用などについて考えていただける機会となりました。全体で32名が参加され、参加者からは「一度に数か所の事業所を見学ができて有意義だった」「かしまらずに見学ができ、事業所の説明も丁寧で、今後の参考になった」という感想をいただきました。



幼保・教育連携学習会

特別な支援を必要とする子供について、教育・福祉・保健等の支援関係機関が連携し、就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制の構築を図ることを目的とした「幼保・教育連携学習会」を8月10日に開催しました。子どもの将来をイメージしながら、今取り組むべきことや大事にしたい視点、支援の切れ目ない引き継ぎ等について「ライフステージを通じた一貫した支援のために～学校・園で意識したいこと」と題し山梨県教育庁高校改革・特別支援教育課 若槻洋貴さんに講演いただきました。参加者からは「見方を変える…ということの大切さに改めて気付けた」「事例をまじえた講演で分かりやすかった」等の声を多数いただき、大変好評でした。今後は、講演会のお話を参考に、関係機関が連携し就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制の構築につなげていきたいと思っております。



中央市・昭和町障がい者相談支援センター

穂のか通信 (第3号) 発行 平成29年8月30日

住所：中央市成島 2266 TEL:055-274-1100 FAX:055-274-1103

センター長あいさつ

4月から、中央市・昭和町障がい者相談支援センターのセンター長に着任しました三井と申します。よろしくお願いたします。

既に今年度は、最後のページの報告のとおり新しい事業も含め、実施してきておりますが、障がいのある方やご家族が、地域で安心して充実した生活が送れるように取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

センター長 三井 久規

れんげ会のお知らせ

当事者同士の交流の場として始まった「れんげ会」は今年で3年目を迎えました。最近では参加者の方たちが同じ悩みを打ち明けることで共感できたり、お互い励ましあう姿も見られています。会を重ねるごとに「自分たちで会の内容を考えてみたい」という声も上がる等、ますますこれからが楽しみです。

少人数で参加しやすい会ですので、ご希望の方はぜひお問い合わせください。

今後の「れんげ会」予定

9月16日	玉穂総合会館 1-5
10月21日	申し込み時に伝えます
11月18日	玉穂総合会館 1-5
12月16日	玉穂総合会館 1-5
1月20日	玉穂総合会館 1-5
2月17日	昭和町総合会館
3月17日	玉穂総合会館 2-3



参加者より♪
・参加して楽しい時間を過ごすことができました。
・仕事の話を話せたから良かった・・・など♪

じゅうしょうしんしんしょう じにつちゅういちじあず しせつ すまいる
重症心身障がい児日中一時預かり施設 スマイル

【法人名】医療法人社団 健輝会 【住所】中巨摩郡昭和町河東中島748-1
 【電話】055-287-8884 【FAX】055-268-5598
 【mail】genkiyume21@yahoo.co.jp 【HP】http://www.genkikids-clinic.com
 【設備など】駐車場 昼食



サービス名	定員	送迎	活動内容 ほか
医療型短期入所	2名	なし	看護師・保育士が子どもの年齢にあった活動を計画し、日中を過ごします。



【事業所からのPR】

昭和町で小児科『げんきキッズクリニック』を開業して10年目に在宅医療を行う中で、重症心身障がい児とその家族に出会いました。ご苦労は想像以上のもので、少しでも家族の負担を減らしたいと、一時的にケアを受けられる家族支援サービス（＝レスパイトケア）を開始しました。医療的ケア（経鼻栄養、気管切開、胃ろう、吸引等）が必要なお子さんをお預かりしています。クリニックの医師・看護師と、隣接の保育園の保育士が協働して1日を過ごします。給食も同じく保育園の栄養士がお子さんに応じた内容（ミキサー食、きざみ食等）で提供することもできます。体調をみながら保育園の行事に参加したり交流もして、楽しく過ごしてもらいたいとスタッフ一同でそれぞれの専門性を生かして取り組んでいます。

おひさま

【法人名】社会福祉法人 ぎんが福祉会 【住所】中央市臼井阿原1653-7
 【電話】055-288-8827 【FAX】055-288-8847
 【mail】ohisama@sunny.ocn.ne.jp 【HP】http://www2.nns.ne.jp/ent/ginga/
 【設備など】施設内はバリアフリーとなっております。機械浴槽2基、多目的トイレ、ベッド等完備しております。昼食は施設内で栄養士が調理し、提供しています。（お弁当持参も可）



サービス名	定員	送迎	活動内容 ほか
生活介護	14名	あり	入浴支援、レクリエーション、生産活動など
就労移行支援	6名	なし	クッキー生産、販売など

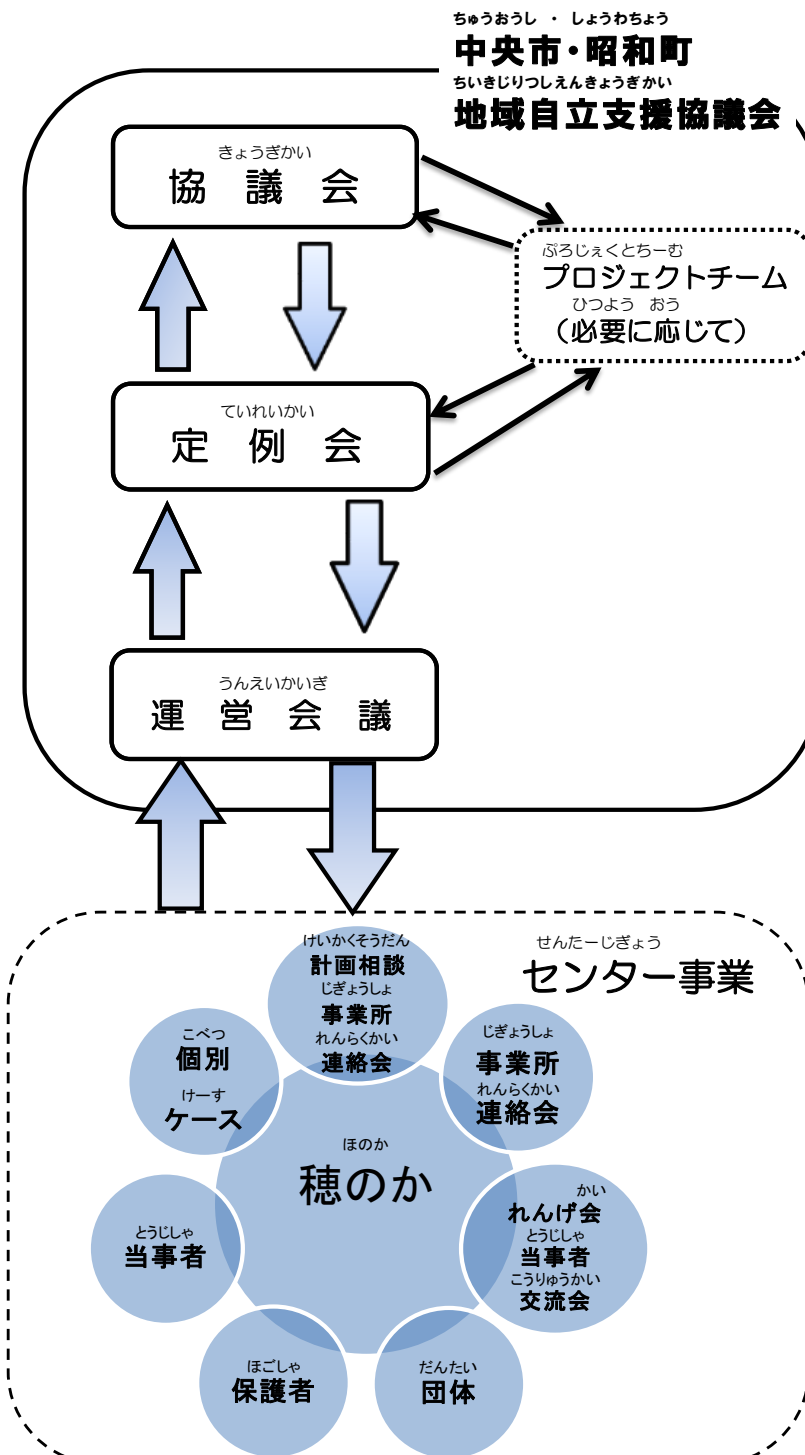


【事業所からのPR】

平成27年4月より開所した通所施設です。主に身体に障害のある方が利用されています。開所より現在まで就労移行支援の利用はありませんが、生活介護の利用については24名の利用登録があります。
 『どんなに重い障害があっても自分らしく生活する』そんな自分らしさに寄り添い支援することが、おひさまの職務であると考えています。お時間がある方、お気軽にお立ち寄りください。

「中央市・昭和町地域自立支援協議会」とは・・・

中央市・昭和町地域自立支援協議会は、平成28年度より協議会、定例会の2部構成とし、事務局は中央市・昭和町障がい者相談支援センターに置かれています。
 なお、協議会・定例会の他に、協議事項の課題解決に向けて調査研究するための専門部会（プロジェクトチーム）を置くことができます。



協議会

定例会で建議した結果の報告を受け、検証・確認・情報の共有等を行います。
 相談支援事業の運営状況の報告を受け、その検証・確認・評価を行います。

定例会

ニーズ・情報把握を行うとともに、個別ケア会議や相談事例に関する評価を通じ課題等を協議します。
 ・定例会での協議結果等は、協議会へ建議又は報告します。

プロジェクトチーム

課題等について検討、調査研究を行い建議・報告を行います。

今年度協議会で話されていること・・・

- ◎地域診断・地域生活支援拠点について（「移動方法について」「住まいについて」）
- ◎タクシー券について
- ◎医療的ケアが必要な重症心身障がい児者のサービス利用について
- ◎退院後、自宅に帰ることが困難な方の支援からみえること

